

2014年：管理人が選ぶ年間表彰

	氏名	理由	次点
MVP(男子)	井上尚弥	世界戦3勝3KO。6戦目での王座奪取に加え、8戦目でナルバエスを粉碎して圧巻の2階級制覇。インパクト、話題性から見て文句なしのMVP。	***
MVP(女子)	選考せず。		
殊勲賞	田口良一	ロセルから2度のダウンを奪い、初挑戦で見事な王座奪取。	***
技能賞(男子)	ホルヘ・リナレス	一時の低迷から脱し、3階級制覇を達成。卓越したスピードと技巧の健在ぶりを示した。	山中慎介、村中優木村悠、益田健太郎
	内山高志	大晦日のペレス戦のみだったが、強打に加えた技巧を存分に見せた。	
技能賞(女子)	選考せず。		
努力賞	河野公平	テンカオセン(3/26)を沈めて2度目の世界タイトル獲得。	高山勝成
KO賞	井上尚弥	世界戦3勝3KO。試合内容、対戦相手のレベルから見て、文句なしのKO賞。	小原佳太
敢闘賞	三浦隆司	プエルタ戦のみだったが、海外での強豪との試合を含む厳しいマッチメイクに耐えて着実に成長。	***
	天笠尚	圧倒的不利の予想だったリゴンドー戦での健闘が光る。	
新鋭賞	田中恒成	4戦目で原隆二からOPBF王座を奪取(10/30)。久々に出現した中部ホクシング界のホープ。	***
年間最高試合	ローマン・ゴンザレスvs.八重樫東(9/5)	強豪ゴンザレスから逃げることなく挑戦を受けた八重樫の勇氣、これに正面から応じたゴンザレスの実力が激突し、ファンを酔わせる最高峰の戦いとなった。	ホルヘ・リナレスvs.荒川仁人(3/8) 井上尚弥vs.オマール・ナルバエス(12/30)
年間最高アンダーカード	坂本英生vs.椎野大輝(10/13)	地方の弱小ジムというハンデを跳ね返し、坂本が元OPBF王者・椎野を仕留める金星。	***
来日あるいは日本人と対戦した外国人MVP	ローマン・ゴンザレス	4戦4KO。うち3勝を日本で挙げる。強打と卓越した技巧でファンを魅了。八重樫東から王座を奪取し、3階級制覇を達成(9/5)。	ギジェルモ・リゴンドー(12/31 vs.天笠尚)
管理人特別賞	大橋秀行	ローマン・ゴンザレスvs.八重樫東戦、田中恒成vs.原隆二戦、井上尚弥vs.オマール・ナルバエス戦を実現。強敵を避ける風潮を打破する数々の取り組みを行い、日本ホクシング協会の会長として業界を牽引した。	***